

「神戸市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例の一部改正（案）」の概要に対する市民意見募集の結果

1. 募集期間（終了）

2023年10月20日（金曜）～ 2023年11月18日（土曜）

2. 提出意見数

3件（3通）

3. 市民意見の概要と神戸市の考え方

※主旨を損なわない程度に表題の省略や文字変換の補正等を行っています。

件数	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	クリーンステーションの問題に取り組んでもらえて、感謝です。一部ルールが守られていないことへの対応ですが、外国人居住者も増えてきていることから、ゴミ棄てに関するルールを、日本語のみならず、英語、中国語、ベトナム語、スペイン語など、複数用意して、神戸市のHPからダウンロードできるようにしておき、共同住宅管理者、自治会員の皆さんに利用してもらうようお知らせしておけば、有効では無いかと思います。また、高齢者もわかりやすいように、大きな文字でのクリーンステーションでのルールの掲示も必要かと思っています。	<p>神戸市では、基本的なごみ出しルールについて、11か国語に対応したちらしを作成し、神戸市ホームページで公開しているほか、区役所での転入手続き時にも配布しています。</p> <p>また、不動産事業者にも、外国人入居者向けごみ出しルールの周知協力を働きかけ、ちらし配布等をご対応いただいています。この度、共同住宅の所有者・仲介業者等に対して、入居者にごみの排出方法を周知いただくことを、義務として条例に規定し、より一層取組を強化していただきたいと考えています。</p> <p>なお、自治会ははじめ地域の皆様から環境局事業所に外国人ごみ出し課題についてご相談いただいた際には、クリーンステーションでの多言語啓発物の設置や、多言語ちらしのポスティング等も引き続き行ってまいります。</p> <p>クリーンステーションのルール掲示については、ごみ出しルール違反の状況に応じて、日本人・外国人に関わらず誰もが見やすく理解しやすい啓発物を工夫する等、引き続き取り組んでまいります。</p>
2	いつも収集ありがとうございます。ステーション北側は森になっており数多くのカラスが住みついています。神戸市が配付してくれているゴミネットではカラ	「クリーンステーションのあり方中間とりまとめ」では、高齢化など、社会状況の変化にあわせて市民の管理負担を軽減するため、側面的支援として、環境局職員が収集

スが余裕でくちばしで上げてしまい荒らされる為、環境局に相談しゴミネットにポール棒（スポンジみたいな物）みたいな物をつけてもらいそれで約1年間はいけていましたが（たまに荒らされる事がありました）今年9月末あたりから棒がついているのにくちばしですごい力で上げて荒らしているのを確認しました。こちらの地域ではもうネットでは無理です。ゴミボックスでないと無理だと思います。もうみんなまっています。荒らされた後の清掃もすぐにしないと（仕事や外出ですぐにはできません。最悪は夜や翌日になり、そのまま放置している世帯がある為、イノシシや猫の餌になります。）ふきとばされどこかに飛んでいってその後どうなっているのかわかりません。まわりの方にも迷惑ですし、自分の自宅敷地にゴミが飛んできていたり辛いです。

清掃時も誰の何を拭いたテッシュなのかもわからず衛生面で怖いです。上記の件、ゴミボックスにすれば悩む事なく解決できると思います。私が今現在で改正して頂ければ本当にありがたいと思う理由を簡条書にして書きます。長くはなりますが、目を通して頂ければ幸いです。

●カラスの住み家の近くカラスが多い地域なのでネットでは対応できません。ネットをかけていても荒らされます。荒らされた時、異常な数のカラスがたかかっていて怖いですし、気持ち悪いです。

●ゴミステーションの利用世帯が少なくスグに当番が回ってくる為負担になる。

（大規模ステーションも大変ですが利用者が少なすぎるのも当番の負担回数がおおく問題）

●利用世帯は少ないですが、家族が多くゴミが多い世帯があります。そういう世帯が当番を多めにしてくれるとありがたいです。

●近所付き合いがないので変わってもら

の際にクリーンステーションの清掃とカラス対策ネットの片付けを行うこととしています。

また、カラス対策ネットでは鳥獣被害を抑えきれない場合への対策として、折り畳み式ネットボックスを道路上に設置する場合の条件や管理上のルールを整理した上で、折り畳み式ネットボックスを使用できる地域では、使用していただける環境を整えていくことで、鳥獣被害による清掃の負担軽減につなげることとしています。

なお、クリーンステーションを利用する一人ひとりがごみの出し方を工夫することで、鳥獣被害を減少させることもできます。本市では、「生ごみが見えないように新聞紙などに包んでごみ袋の真ん中にいれること」等を記載したカラス対策ガイドを作成・配布しております。

また、今後は、カラス対策ネットに正しく包んで出すこと等、排出ルールを守ることを市民の責務として位置付け、悪質なルール違反に対しては、市として、地域の皆様と相談しながら実情に即した方法で、啓発や指導を徹底してまいります。

今後も、クリーンステーション管理には地域の皆様の力は欠かせないものと考えていますが、少しでもその負担を軽減できるよう、引き続き、皆様と連携協力しながら、鳥獣被害対策に取り組んでまいりたいと考えています。

	<p>う事が出来ない。(個別収集だとありがたいです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当番回数が多い為、急な外泊や旅行が出来ない月が多い。当番の為に諦めることがおおい。 ●カラスにあらされ清掃した後のゴミの置き場がなく困ります。我が家はゴミを保管する場所がありません。 ●荒らされた日のゴミ袋代も当番回数が多い為もったいない。 ●雨の日、傘をさしながらネットを広げたり畳んだりするのが大変です。私でも大変なのでご高齢の方はもっと大変と思います。 ●ネットの重り石で指を切りました。 ●ネットはゴミを出す時、かがまないといけないのでひざや腰がいたいです。(腰痛持ちなので。) ●カラスに荒らされる事をわかっているので、燃えるゴミの日が憂鬱です。(当番でなくても自宅にゴミが飛んでくる為)ありがとうございます。 <p>以上、何卒宜しくお願い致します。</p>	
3	<p>現在は環境局は回収時にネットを放り投げ、ゴミを素早く回収車に積み込み、積み終わると直ちに次のクリーンステーションへ移動して行きます。</p> <p>ところが、先日の新聞に折り込まれた某神戸市会議員のチラシによれば、令和6年4月よりクリーンステーションが変わり、「環境局職員が収集の際にクリーンステーションの清掃とカラス対策ネットの片付けを実施」と記載されています。環境局職員に清掃や片付けをして頂ければ住民にとって有難いことですが、環境局職員に清掃や片付けをすることが時間的・労力的に可能なのでしょうか？</p> <p>同じチラシに「家庭ごみステーションに全ごみを捨てられます」と記載されています。ごみの種類によって使用するクリーンステーションを変えている地域がありま</p>	<p>「クリーンステーションのあり方中間とりまとめ」においては、収集の際に「クリーンステーションの規模に応じた収集順序の工夫や回収ルート柔軟な変更等により積載効率を向上させるなど、できる限りの工夫・努力を行うことで、収集全体にかかる作業時間の延長とその影響を最小限にとどめ、かつ、職員の時間外勤務を発生させない範囲において収集職員が清掃やネットの片付けを行う。」としており、クリーンステーションに散乱したごみを、収集車に備える用具により対応可能な範囲で清掃することを想定しています。</p> <p>したがって、散乱の程度や時間的な制約により、収集時の清掃後、クリーンステーション利用者による更なる清掃が必要になる場合があります。また、カラス対策ネットについても、交通や歩行者の支障になら</p>

<p>すが、何故変えているのか理解できません。全ての種類のごみを同じクリーンステーションに出すのが当然ではありませんか？</p> <p>クリーンステーションのネットが雑然と設置され、片付けられずに放置されているネットがありますが、街の美観を損ねています。見た目に美しい整理整頓されたクリーンステーションにするため、ネットの整理整頓基準、設置基準を定める必要があると思われます。</p>	<p>ない範囲で片づけることを想定しているため、地域で独自のネット収納・保管方法を決めている場合などは、収集後にクリーンステーション利用者によるネット収納・保管が必要になる場合もあります。</p> <p>クリーンステーションは当初、台所ごみと紙ごみを中心とする「家庭ごみ」を中心に概ね30軒に1か所の割合で設けられました。一方、「荒ごみ」は雑多なごみ全般を対象としていましたが、排出される頻度が低いことから、概ね100軒に1か所の割合でクリーンステーションが定められました。</p> <p>現在でも、それらの経緯から「燃えるごみ」専用のクリーンステーションがそのままの状態であり、これらを全ごみ種対応に変更することについては、掃除当番に出る回数が増える等の理由から、なかなか理解が得られない状態です。</p> <p>クリーンステーションの清掃等の負担軽減の新たな取り組みや排出指導の徹底等により、管理負担の絶対量が減少することを丁寧に説明し、地域の皆様の理解を得ながらクリーンステーションの全ごみ種対応を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>カラスネットの整理整頓、設置等の基準については、クリーンステーションの場所や規模、管理状況など様々であり一律に定めることは困難ですが、状況に応じて対応してまいりたいと考えています。</p>
--	--